

資料提供
 平成30年10月23日
 課名：統計課
 担当者：河野康則
 内線：2534
 直通電話：082-513-2534

平成27年(2015年)基準

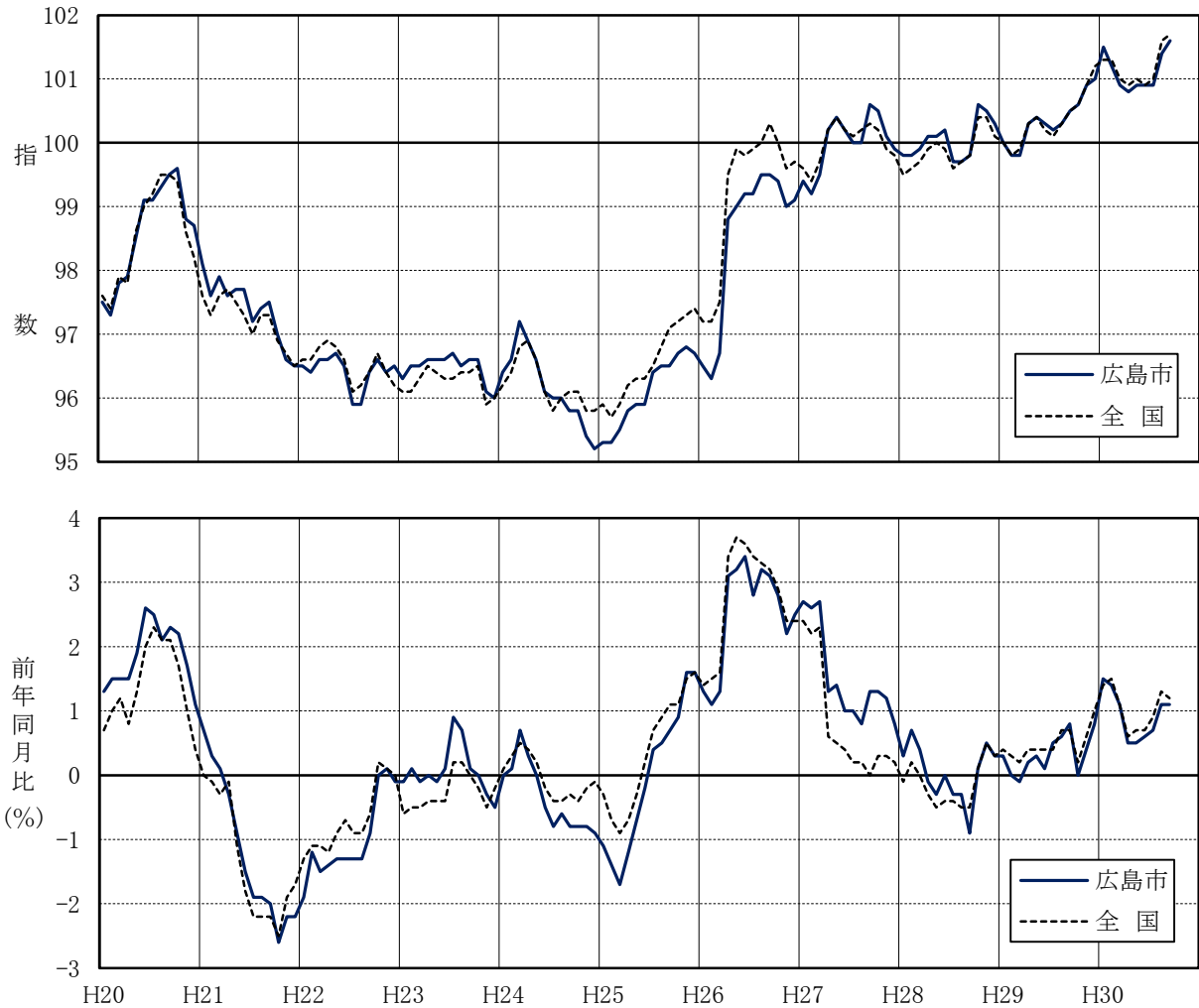
消費者物価指数

(小売物価統計調査結果)

平成30年9月分

広島市 総合指数	101.6	(平成27年=100)
前年同月比	1.1 %	前月比 0.2 %

図1 総合指数, 前年同月比 H20.1~30.9



【広島市の消費者物価指数】平成30年9月（平成27年=100）

1 概況

	指数	前年同月比 (%)	ポイント	前月比 (%)	ポイント
総合指数	101.6	1.1	11か月連続の上昇	0.2	2か月連続の上昇
生鮮食品を除く総合指数	101.0	0.7	20か月連続の上昇	0.1	2か月連続の上昇
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	100.8	0.1	2か月連続の上昇	0.1	2か月連続の上昇

図2 総合指数, 前年同月比の推移

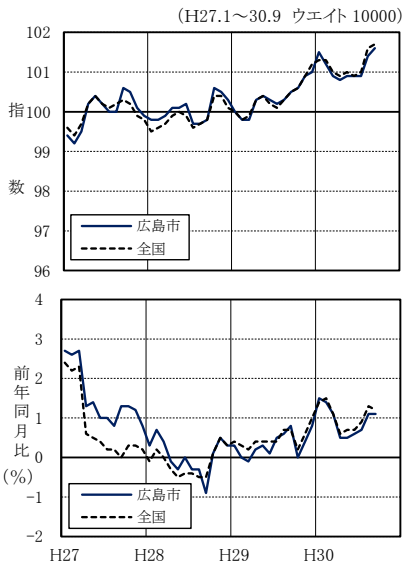


図3 生鮮食品を除く総合指数, 前年同月比の推移

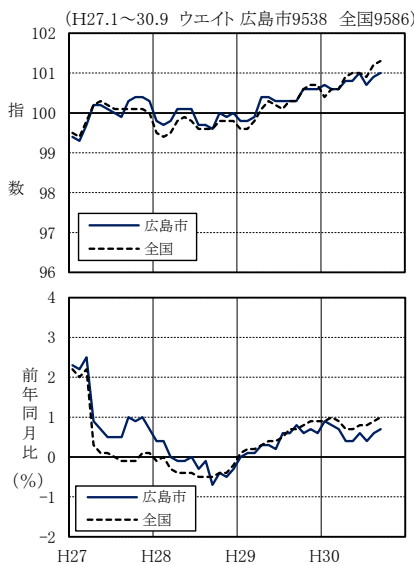
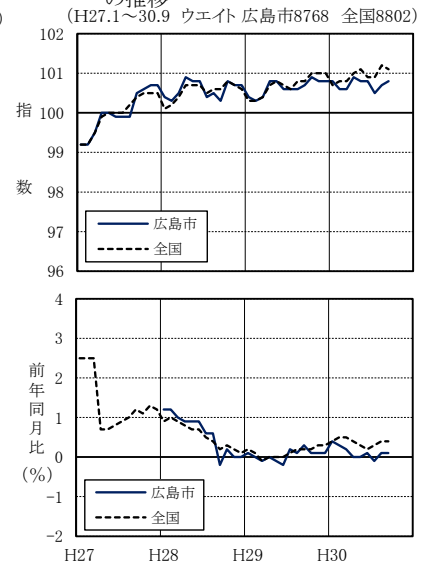


図4 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数, 前年同月比の推移



(注) 前年同月比は各基準年の公表値による。グラフの右上数値は、H27年基準指数のウェイト

2 前年同月との比較

～食料は上昇 家具・家事用品は下落～

表1 10大費目指数, 前年同月比, 寄与度

原数値	総合	食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー
指数	101.6	105.1	113.0	103.5	100.1	100.7	91.3	106.1	103.4	99.1	104.7	99.5	100.5	103.9
前年同月比 (%)	1.1	2.2	7.9	1.0	▲0.1	3.3	▲4.9	0.8	0.8	2.0	0.5	0.7	▲0.3	7.7
寄与度	1.1	0.62	0.38	0.24	▲0.02	0.24	▲0.16	0.04	0.04	0.25	0.01	0.06	▲0.02	0.57

(注1) 寄与度は、物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。

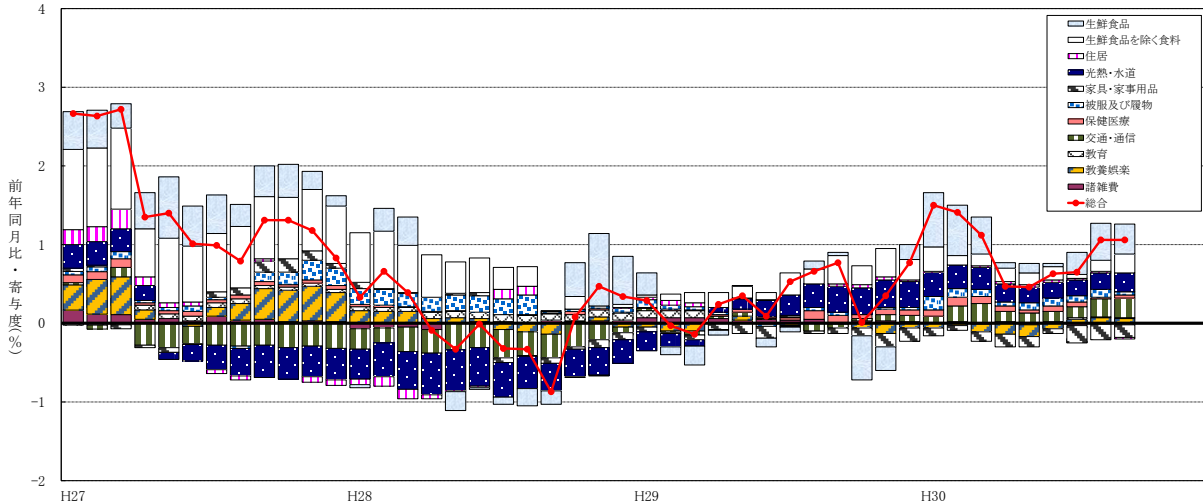
本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(注2) エネルギーは、光熱・水道のうち電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油と交通・通信のうちガソリン。

表2 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

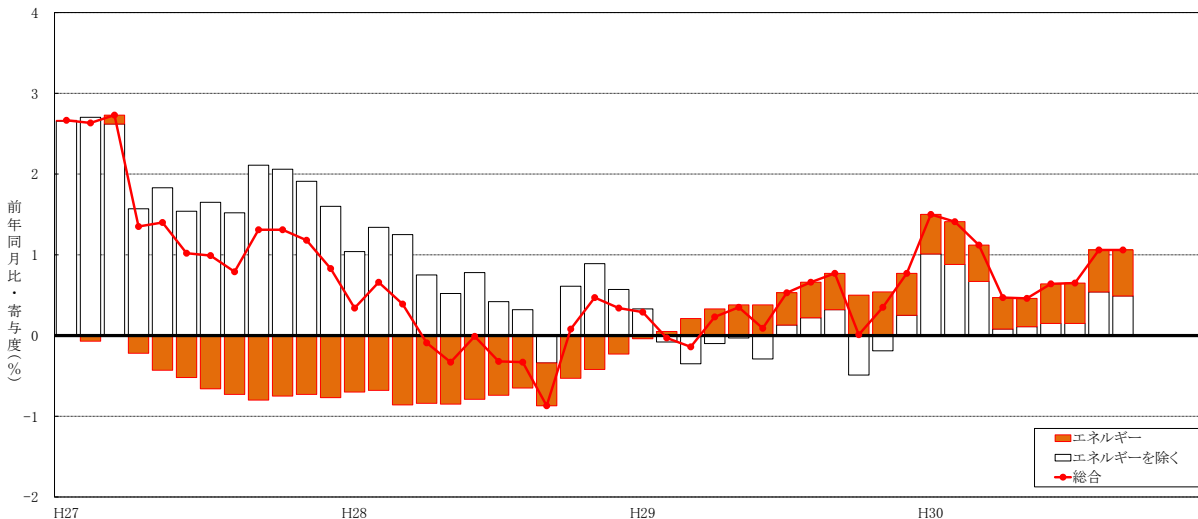
上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
自動車等関係費(ガソリン 等)	0.32	通信(通信料(携帯電話) 等)	▲0.09
野菜・海藻(ねぎ 等)	0.29	家庭用耐久財(電気冷蔵庫 等)	▲0.06
魚介類(いか 等)	0.17	調理食品(弁当(からあげ弁当) 等)	▲0.06
電気代(電気代)	0.15	身の回り用品(傘 等)	▲0.05
洋服	0.06	家事雑貨(水筒 等)	▲0.04

図5 総合指数の前年同月比に対する10大費目別寄与度の推移 H27.1～30.9



(注) 前年同月比、寄与度は、各基準年の公表値による(H27.12以前はH22年基準、H28.1以降はH27年基準)。

図6 総合指数の前年同月比に対するエネルギー寄与度の推移 H27.1～30.9



(注) エネルギーは、光熱・水道のうち電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油と交通・通信のうちガソリン。

3 前月との比較

～食料は上昇 教養娯楽は下落～

表3 10大費目指数の前月比、寄与度

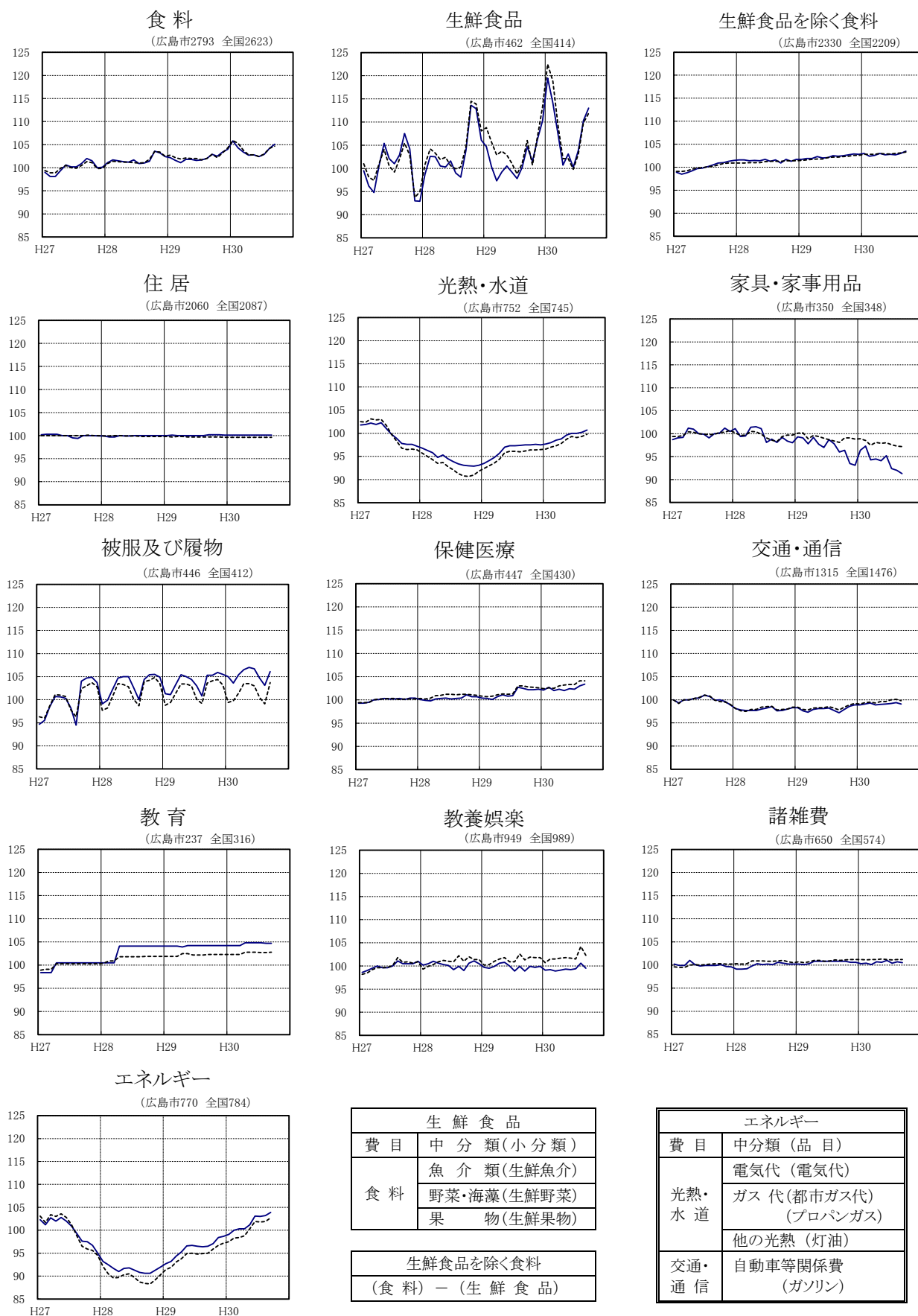
原数値	総合	食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー
前月比 (%)	0.2	0.8	2.5	0.5	0.0	0.4	▲0.7	2.9	0.3	▲0.3	0.0	▲1.1	▲0.2	0.7
寄与度	0.2	0.24	0.12	0.11	0.00	0.03	▲0.02	0.13	0.01	▲0.04	0.00	▲0.11	▲0.01	0.05

表4 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上昇		下落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
シャツ・セーター類	0.07	教養娯楽サービス(宿泊料 等)	▲0.13
洋服	0.07	交通(鉄道運賃(JR) 等)	▲0.05
野菜・海藻(ねぎ 等)	0.06	家庭用耐久財(電気冷蔵庫 等)	▲0.02
魚介類(さんま 等)	0.05	通信(携帯電話機 等)	▲0.02
肉類(豚肉(もも) 等)	0.04	下着類	▲0.01

図 7 10 大費目指数の推移 H27年=100, H27.1~30.9

※グラフの右上の数値は、H27年基準指数のウェイト 広島市 — 全国 - - - -



生 鮮 食 品	
費 目	中 分 類 (小 分 類)
食 料	魚 介 類 (生 鮮 魚 介)
	野 菜 ・ 海 藻 (生 鮮 野 菜)
	果 物 (生 鮮 果 物)

生 鮮 食 品 を 除 く 食 料	
(食 料) - (生 鮮 食 品)	

エ ネ ル ギ ー	
費 目	中 分 類 (品 目)
光 熱 ・ 水 道	電 気 代 (電 気 代)
	ガ ス 代 (都 市 ガ ス 代) (プ ロ パ ン ガ ス)
交 通 ・ 通 信	他 の 光 熱 (灯 油)
	自 動 車 等 関 係 費 (ガ ソ リ ン)

[参考] 【福山市の消費者物価指数】 平成 30 年 9 月 (平成 27 年=100)

1 概況

	指数	前年同月比 (%)	ポイント	前月比 (%)	ポイント
総合指数	101.6	0.7	4 か月連続の上昇	0.2	3 か月連続の上昇
生鮮食品を除く総合指数	101.1	0.5	18 か月連続の上昇	0.1	2 か月連続の上昇
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	100.5	▲0.4	6 か月連続の下落	0.0	前月と同水準

2 前年同月との比較, 前月との比較

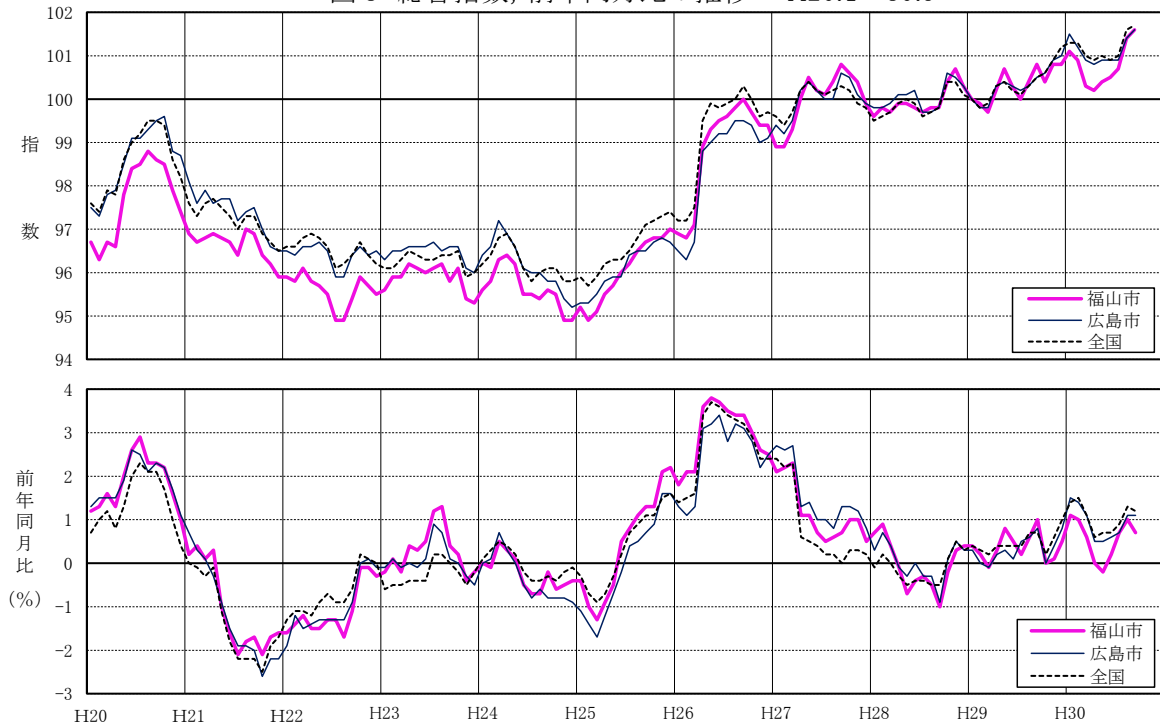
～前年同月比は交通・通信が上昇 家具・家事用品が下落
前月比は被服及び履物が上昇 教養娯楽が下落～

表 5 10 大費目指数, 前年同月比, 前月比, 寄与度

原数値	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
ウェイト	10000	2787	1890	724	388	406	431	1508	282	946	637
指数	101.6	103.9	99.1	103.6	93.5	108.3	103.8	99.7	104.5	101.0	99.6
前年同月比 (%)	0.7	0.1	▲0.3	4.3	▲1.3	0.6	0.9	2.4	0.1	0.8	0.1
寄与度	0.7	0.03	▲0.05	0.31	▲0.05	0.03	0.04	0.35	0.00	0.08	0.01
前月比 (%)	0.2	0.3	0.0	0.6	0.7	4.1	▲0.1	▲0.1	0.0	▲1.6	0.0
寄与度	0.2	0.08	0.00	0.04	0.03	0.17	0.00	▲0.01	0.00	▲0.16	0.00

(注) 寄与度は、物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。
本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

図 8 総合指数, 前年同月比の推移 H20.1～30.9



(注) 前年同月比は各基準年の公表値による。